

# 浦添市環境基本計画

年次報告書（平成30年度版）

豊かな自然と文化を育み、次世代へつなぐ環境共生都市・浦添



内間の大アカギ



オオバナアリアケカスラ



当山の石畳道



浦添大公園の自然観察会



屋富祖の御願所のカシュマル



安波茶樋川



安波茶橋



環境月間パネル展



カーミージー（空寿崎）



オキナワキノボリトカゲ



てだこ環境調査団

令和2(2020)年3月

# 目次

1. 浦添市環境基本計画の概要 .....	3
○浦添市環境基本計画とは .....	3
○計画期間.....	3
○計画の全体像 .....	3
○推進体制.....	4
○進捗管理.....	4
2. 環境保全・創造のための施策の実施状況.....	5
○基本目標1「人と自然との共生」 .....	5
○基本目標2「良好な生活環境保全」 .....	6
○基本目標3「循環型社会の構築」 .....	8
○基本目標4「地球環境の保全」 .....	9
○基本目標5「協働・参画社会の構築」 .....	10
<b>【資料編】社会情勢及び市域環境の現況 .....</b>	<b>12</b>
○環境をとりまく社会情勢と政策の動向（2000年以降） .....	12
○市域の概況 .....	15
○自然環境の現況 .....	19
○生活環境の現況 .....	20
○快適環境の現況 .....	26
○地球環境の現況 .....	27
○協働の現況 .....	30

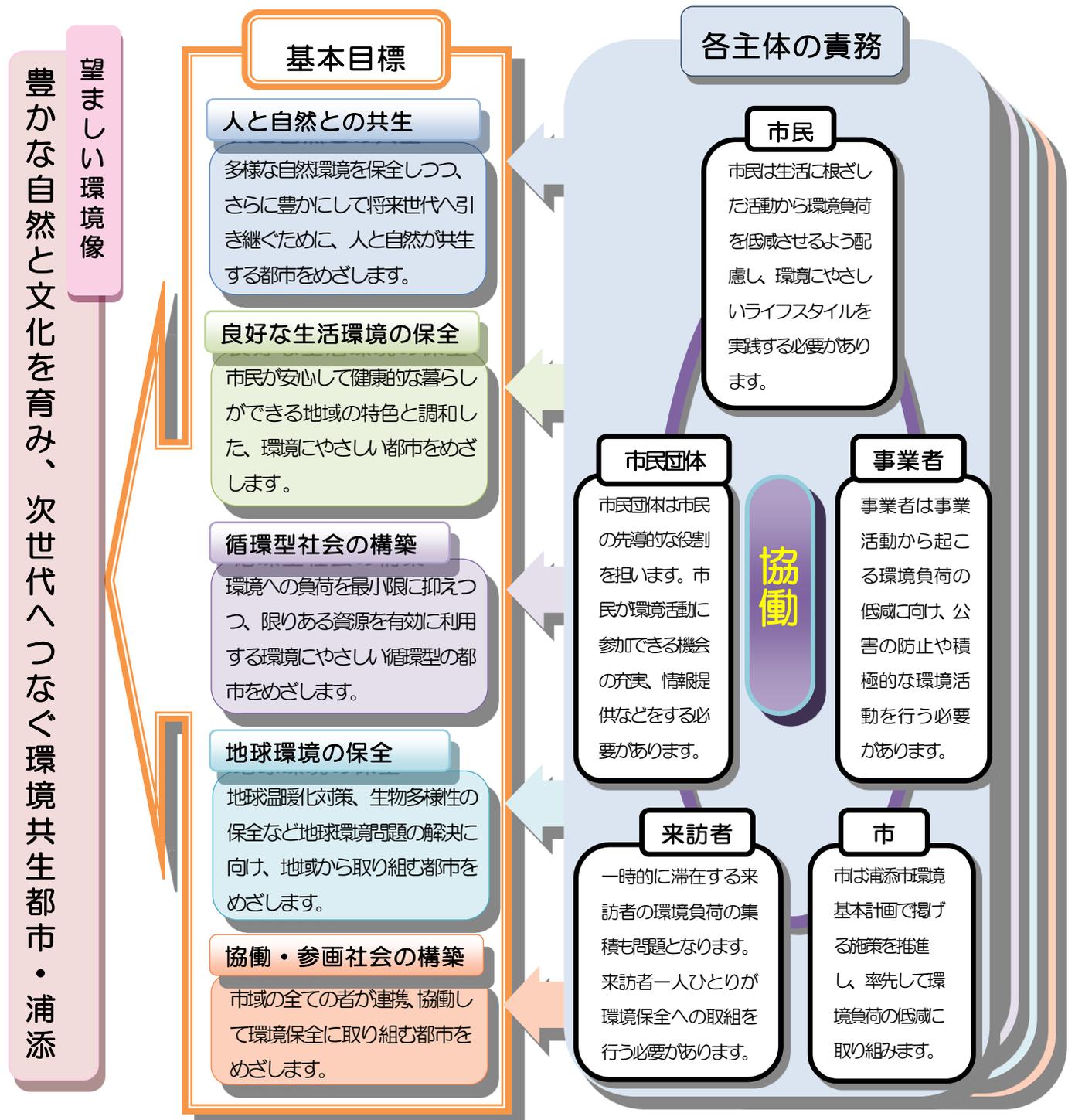
# 1. 浦添市環境基本計画の概要

## ○浦添市環境基本計画とは

浦添市環境基本条例（平成 23 年6月制定）第 10 条第 1 項の規定により策定する、本市の環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画のことです。

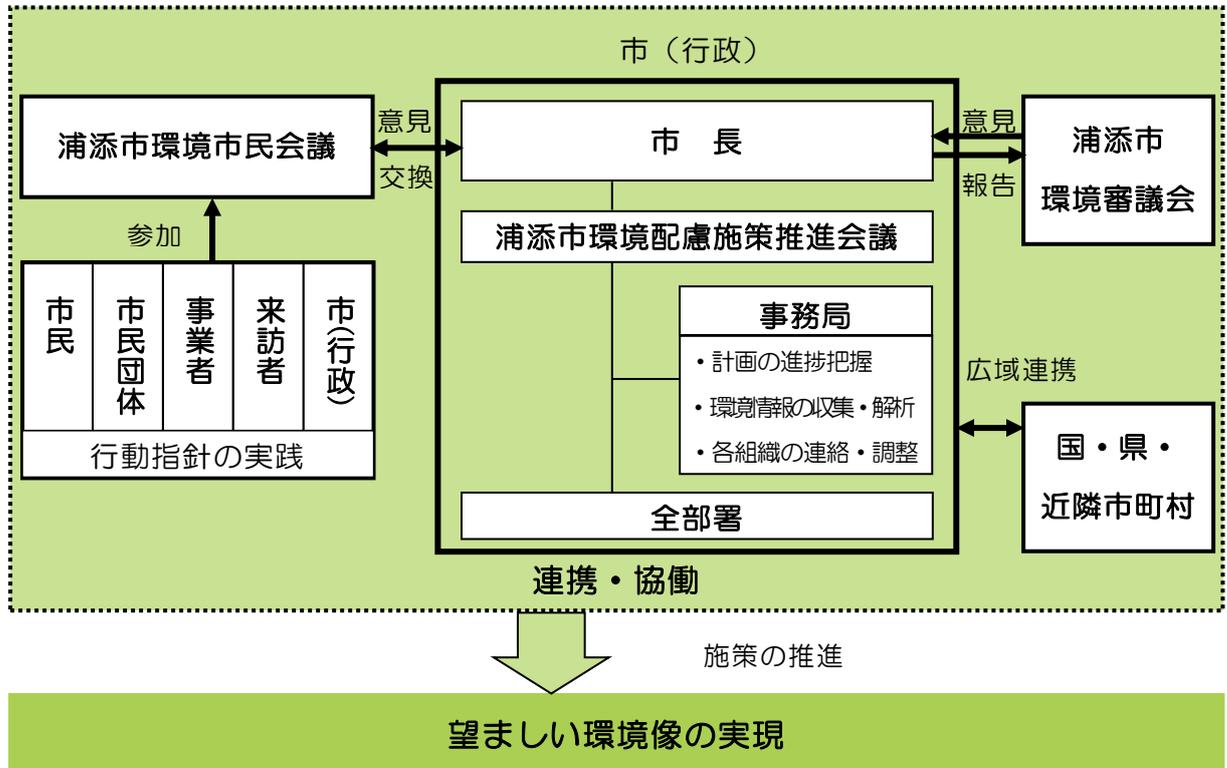
○計画期間 平成 25 年度から平成 31 年度までの7年間

## ○計画の全体像



## ○推進体制

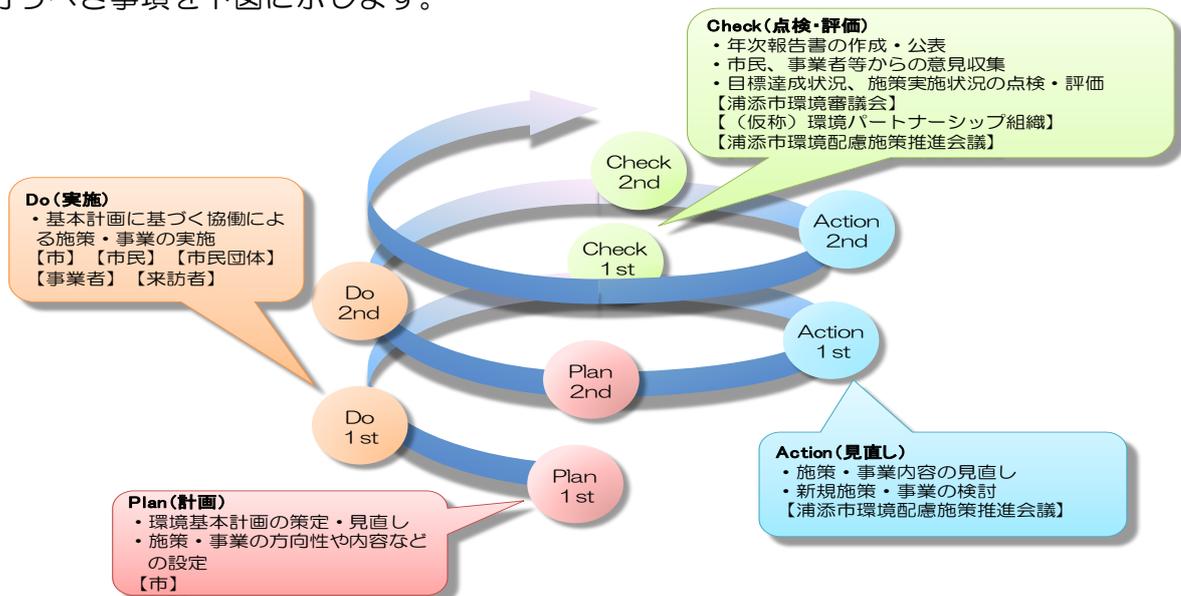
浦添市環境審議会（学識経験者、市民団体、事業者、関係機関等の代表）、浦添市環境配慮施策推進会議（本市職員）、浦添市環境市民会議（市民、市民団体、事業者の代表等）からなる推進体制を整備し、各主体協働による環境基本計画の推進をめざします。（※浦添市環境市民会議は平成 28 年度に設置しました）



## ○進捗管理

市、市民、市民団体、事業者、来訪者等が連携・協働し PDCA サイクルを基本として行い、計画の継続的かつ効率的な推進を図ります。

Plan（計画）→Do（実施）→Check（点検・評価）→Action（見直し）の各段階で行うべき事項を下図に示します。



## 2. 環境保全・創造のための施策の実施状況

<p>＜＜達成状況の見方＞＞</p> <p>★★★          (目標) 達成している。          (めざす方向) 順調に進んでいる。</p> <p>★★          (目標) 達成していないが、目標に近づいている。          (めざす方向) 概ね進んでいる。</p> <p>★          (目標) 達成しておらず、努力が必要。          (めざす方向) 思うように進んでいない。</p>
--

### ○基本目標1「人と自然との共生」

人と自然との共生を実現するためには、市民が水辺や緑といった自然環境と親しみ、理解を深めることが不可欠です。

市民が日常的に水辺や緑と親しむ空間の創出を目標に、水辺の交流拠点として河川を利用した公園・緑地の整備を進めています。また、カーミージー周辺の里浜地域の保全・活用に向けて「うらそえ里浜の保全・活用ガイドライン」の推進や、市民、事業者、市民団体等と協働して里浜クリーンアップを行いました。



市民環境調査

今後も公園・緑地の整備を進めるとともに、本市の自然環境の重要性を周知していきます。

### 施策の方向1-1 水循環の維持、回復及び有効利用

項目	めざす方向	計画策定時	H29報告	H30報告	H31目標	達成状況
市道の透水性舗装の整備箇所数	増加	6箇所 (H23実績)	9箇所	9箇所	8箇所以上	★★★
市民1人1日当たりの給水量	減少	303ℓ (H21実績)	289ℓ	303ℓ	—	★★
地下水の水質汚濁に係る環境基準達成状況*	達成	2地点超過 (H21実績)	2地点超過	2地点超過	環境基準達成	★★

※「2地点超過」の内容は、「自然由来のヒ素」であることが分かっています。

### 施策の方向1-2 生物多様性の保全

項目	めざす方向	計画策定時	H29報告	H30報告	H31目標	達成状況
みどりの確保量 (市域面積に対する割合)	増加	18% (H11実績)	27.8%	27.8%	28% (H27目標)	★★

自然環境調査の実施箇所 (浦添市環境マップの掲載箇所)	増加	10箇所 (H23実績)	14箇所	<b>14箇所</b>	20箇所	★★
--------------------------------	----	-----------------	------	-------------	------	----

### 施策の方向1-3 環境配慮型農水産業の推進

項目	めざす方向	計画策定時	H29報告	H30報告	H31目標	達成状況
農地面積	水準維持	20.9 ha (H23実績)	42.8 ha	<b>42.8ha</b>	—	★★
遊休耕作地の桑園利用	増加	46a	77a	<b>77a</b>	—	★★

### 施策の方向1-4 自然とのふれあいの場の保全

項目	めざす方向	計画策定時	H29報告	H30報告	H31目標	達成状況
みどりの確保量 (市域面積に対する割合)	増加	18% (H11実績)	27.8%	<b>27.8%</b>	28% (H27目標)	★★
自然環境調査の実施箇所 (浦添市環境マップの掲載箇所)	増加	10箇所 (H23実績)	14箇所	<b>14箇所</b>	20箇所	★★

#### ○基本目標2「良好な生活環境保全」

良好な生活環境を保全するため、水質汚濁対策を推進しています。

下水道の整備・接続の呼びかけ、合併処理浄化槽の設置推進、公共用水域へ排出水を排出する事業者への立ち入り検査などの対策を実施した結果、環境基準達成評価として7地点中6地点で環境基準をクリアすることができました。

また、飼い主のいない猫のTNR活動(避妊・去勢手術)を実施し、環境衛生の向上と殺処分減少に取り組んでいます。



TNR活動の様子

今後も、快適な都市環境を構築するため、都市マスタープラン(平成25年)や交通基本計画(平成23年)などの計画に基づき推進しています。

### 施策の方向2-1 人の健康及び生活環境の保全

項目	めざす方向	計画策定時	H29報告	H30報告	H31目標	達成状況
公害苦情件数(総数)	減少	55件 (H21実績)	28件	<b>45件</b>	—	★★
二酸化窒素濃度 (環境基準: 0.060ppm以下)	達成・維持	0.020ppm 達成 (H21実績)	0.006ppm 達成	<b>0.008ppm 達成</b>	達成・維持	★★★

浮遊粒子状物質濃度 (環境基準： 0.100mg/m <sup>3</sup> 以下)	達成・ 維持	0.020mg/m <sup>3</sup> 達成 (H21実績)	0.021mg/m <sup>3</sup> 達成	<b>0.014mg/m<sup>3</sup></b> 達成	達成・ 維持	★★ ★
光化学オキシダントの 環境基準超過日数 (環境基準：1時間値 0.060ppm以下)	減少	37日 (H21実績)	16日	<b>21日</b>	—	★★ ★
悪臭に関する公害苦情 件数	減少	15件 (H21実績)	12件	<b>9件</b>	—	★★ ★
市内河川の各測定点に おける生活環境に係る 環境基準達成評価※ <sup>1</sup> (BOD75%値：5mg/ ℓ以下(C類型))	達成・ 維持	80% 10地点中 8地点達成	86% 7地点中 6地点達成	<b>86%</b> 7地点中 6地点達成	100% 全地点 で達成	★★
市内海域の測定点にお ける生活環境に係る環 境基準達成評価※ <sup>2</sup> (COD：2mg/ℓ以下(A 類型相当))	達成・ 維持	1.8mg/ℓ 達成 (H23実績)	2.0mg/ℓ 達成	<b>1.8mg/ℓ</b> 達成	達成・ 維持	★★ ★
地下水の水質汚濁に係 る環境基準達成状況	達成	2地点超過 (H21実績)	2地点超過	<b>2地点超過</b>	達成	★★
汚水衛生処理率	増加	93.8% (H21実績)	93.2%	<b>93.1%</b>	94.7%	★
自動車騒音に係る環境基 準達成率	増加	50.0% 4地点中 2地点達成 (H21実績)	95.7% 9604戸中 9189戸達成	<b>96.1%</b> 10108戸中 9718戸達成	100% 全地区 で達成	★★

(備考)

- ・※<sup>1</sup> 安謝川、牧港川、小湾川3水域の各測定点における生活環境項目の達成状況のことです。なお、小湾川の環境基準値はないため、C類型を参考としました。
- ・※<sup>2</sup> 市独自の各測定点を含む港川海岸の測定点における生活環境項目の達成状況のことです。なお、港川海岸の環境基準値はないため、A類型を参考としました。

## 施策の方向2-2 快適な都市環境の創造

項目	めざす 方向	計 画 策定時	H29 報 告	H30 報 告	H31 目 標	達成 状況
地区計画地区数	増加	4地区 (H21実績)	7地区	<b>7地区</b>	概ね 7地区	★★★★
公共交通機関の利用率	増加	3.6% (H18実績)	3.6% (H18実績)	<b>3.6%</b> (H18実績)	10% (H42目標)	★★
公園・緑地の箇所数	増加	85箇所 (H21実績)	88箇所	<b>88箇所</b>	88箇所	★★★★
市民1人当たりの都市公 園面積(供用開始)※	増加	5.12m <sup>2</sup> /人 (H23実績)	5.6m <sup>2</sup> /人	<b>5.6m<sup>2</sup>/人</b>	5.58m <sup>2</sup> /人 (都市公園 確保面積)	★★★★
景観地区等の指定地区数	増加	1地区 (H21実績)	2地区	<b>2地区</b>	概ね 3地区	★★
みどりの確保量 (市域面積に対する割合)	増加	18% (H11実績)	27.8%	<b>27.8%</b>	28% (H27目標)	★★

ちゅらまちサポーター制度の申請件数(個人、団体)	増加	105件 (H23実績)	161件	<b>204件</b>	—	★★★★
市内の指定文化財件数(国、県、市の合計)	増加	71件 (H21実績)	77件	<b>79件</b>	75件	★★★★

(備考)

- ・※ 平成31年度の目標値は、都市公園確保面積として、都市計画決定等を受けた面積の事です。

### ○基本目標3「循環型社会の構築」

持続可能な循環型社会の構築を目指すため第3次浦添市一般廃棄物処理基本計画に基づき、一般廃棄物の削減を推進しています。

生ごみ自己処理容器の補助やクリーン指導員を活用したゴミ分別指導等を実施し、ごみの減量と適正処理、リサイクルの普及啓発に努め、市民1人当たりのごみ排出量は概ね減少傾向にあります。

また、稼働から36年目を迎えたクリーンセンターの次期代替施設の建設に向けて、新クリーンセンター建設室を立ち上げ、広域化に向けた循環型社会形成推進地域計画を策定しました。

今後ごみ処理基本計画の目標達成に向けて、市民・事業者への普及啓発を図ってまいります。



不法投棄現場の巡回

#### 施策の方向3-1 資源の有効利用の促進

項目	めざす方向	計画策定時	H29報告	H30報告	H31目標	達成状況
一般廃棄物の資源化率	増加	17.9% (H21実績)	18.5%	<b>13.1%</b>	19.3%	★
市民1人が1日に排出するごみの量	減少	831g (H21実績)	799g	<b>803g</b>	806g	★★★★
リサイクルプラザ入館者数	増加	43,853人 (H23実績)	32,477人	<b>29,640人</b>	—	★

#### 施策の方向3-2 廃棄物の適正な処理の推進

項目	めざす方向	計画策定時	H29報告	H30報告	H31目標	達成状況
最終処分量	水準維持	0t	0t	<b>0t</b>	0t	★★★★
不法投棄箇所	減少	2箇所	2箇所	<b>2箇所</b>	0箇所	★★

### 施策の方向3-3 グリーン購入の推進

項目	めざす方向	計画策定時	H29報告	H30報告	H31目標	達成状況
浦添市特定調達品目数	増加	2品目	2品目	2品目	—	★★

### 施策の方向3-4 エネルギーの有効利用の推進

項目	めざす方向	計画策定時	H29報告	H30報告	H31目標	達成状況	
市内の年間電気使用量	減少	5億676万 kWh(H22実績)	4億9238万 kWh	5億7031万 kWh	—	★	
市内の太陽光発電設備の総発電出力	増加	住宅用 事業用 合計	— — —	315万 kWh 772万 kWh 1087万 kWh	347万 kWh 832万 kWh 1179万 kWh	合計 1110万 kWh (H38目標)	★★ ★
市内の太陽光発電設備設置件数	増加	住宅用 事業用 合計	— — —	854件 336件 1190件	871件 345件 1216件	合計 1403件 (H38目標)	★★ ★

#### ○基本目標4「地球環境の保全」

市の業務に伴い排出される温室効果ガス削減のため、浦添市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、その推進を図ってきました。各部署において、省エネ・節電行動や、効率的な施設運用を図ったほか、補助金を活用して市の複数施設にLED照明や高効率空調機を導入するなど、省エネに努めています。

また、市民等に向けた普及啓発活動として、県内関係機関や事業者等と連携し地球温暖化防止展やその他の環境啓発パネル展を実施し、環境について考える契機となるような取組を実施しました。

今後、より一層、地球温暖化対策に努め、温室効果ガスの削減および温室効果ガスの吸収源となる緑化の推進に取り組んでいきます。



地球温暖化防止展

### 施策の方向4-1 地球温暖化対策の推進

項目	めざす方向	計画策定時	H29報告	H30報告	H31目標	達成状況
市内の温室効果ガス(CO <sub>2</sub> )排出量※	減少	79万 t-CO <sub>2</sub> (H21実績)	71万 t-CO <sub>2</sub>	71万 t-CO <sub>2</sub> (H29報告)	65万 t-CO <sub>2</sub> (H38目標)	★★

市役所からの温室効果ガス排出量の削減率 (H19年度基準)	減少	△3.7% (H23実績)		△11.0%	<b>△17.2%</b>	△15% (H30目標)	★★★ ★
市内の年間電気使用量	減少	5億676万 kWh(H22実績)		4億9238 万kWh	<b>5億7031 万kWh</b>	—	★
市内の太陽光発電設備の総発電出力	増加	住宅用 事業用	—	315万kWh 772万kWh	<b>347万kWh 832万kWh</b>	合計 1110万 kWh (H38目標)	★★★ ★
		合計		1087万kWh	<b>1179万kWh</b>		
市内の太陽光発電設備設置件数	増加	住宅用 事業用	—	854件 336件 1190件	<b>871件 345件 1216件</b>	合計 1403件 (H38目標)	★★★ ★
		合計					
みどりの確保量 (市域面積に対する割合)	増加	18% (H11実績)		27.8%	<b>27.8%</b>	28% (H27目標)	★★★

・※ 平成28年度版年次報告書より、浦添市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の数値を掲載しています。

#### 施策の方向4-2 地球規模の環境問題への貢献

項目	めざす方向	計画策定時	H29報告	H30報告	H31目標	達成状況
降雨のpH年間平均値 (酸性雨)	改善・ 水準維持	pH5.5 (H21実績)	pH5.21	<b>pH5.00</b>	pH5.7	★

#### ○基本目標5「協働・参画社会の構築」

協働・参画社会の構築を図るため、環境教育・環境学習の普及啓発に力を入れております。普及啓発事業として、市内の環境保全活動を推進する環境教育リーダー育成講座と環境学習講座を開講しています。これまで、数多くの講座修了生を輩出し、環境教育リーダー受講生の中には、任意の環境保全活動団体を結成し、積極的に本市の環境保全に取り組まれている団体があり、その活動のサポートを行っています。

また、自発的な活動の促進のため、市民で構成する「第7期てだこ環境調査団」を結成し、2回の環境調査を実施しました。1回目はカーミー近くの海で漂着ごみ調査を行い、2回目は同所の自然観察・生物調査を行いました。今後も、市域の自然環境・生活環境などを調査し、内容の充実を図ります。

このほか、市民、事業者、関係機関等と協働で牧港川クリーンアップ作戦や里浜クリーンアップを開催しました。

今後も地域一体となり協働の取組を推進してまいります。



環境教育・環境学習講座



第7期てだこ環境調査団

### 施策の方向5-1 環境教育・環境学習の推進

項目	めざす方向	計画策定時	H29報告	H30報告	H31目標	達成状況
環境学習関連事業・講座の開催数	増加	95回 (H23実績)	156回	<b>156回</b> (H29報告)	—	★★★
こどもエコクラブ登録数	増加	1団体 (H21実績)	0団体	<b>0団体</b>	10団体	★
人材バンク登録者数	増加	3人 (H21実績)	3人	<b>3人</b>	20人	★

(備考)

- ・「環境学習関連事業・講座の開催数」とは、宿泊体験学習事業（学校教育関連）、リサイクルプラザ講座、環境教育・環境学習講座、その他事業及び講座の開催回数  
の総計のこと。

### 施策の方向5-2 自発的な活動の促進

項目	めざす方向	計画策定時	H29報告	H30報告	H31目標	達成状況
CGG 運動参加者数※	増加	27,877人 (H23実績)	78,912人	<b>13,625人</b>	—	★★★
人材バンク登録者数	増加	3人 (H21実績)	3人	<b>3人</b>	20人	★
牧港川クリーンアップ作戦参加者数	増加	443人 (H24実績)	雨天中止	<b>406人</b>	—	★
市民憲章環境美化活動参加者数	増加	19,948人 (H23実績)	16,815人	<b>16,541人</b>	—	★
まちづくりプラン賞受賞団体数（のべ数）	増加	117団体 (H24実績)	186団体	<b>201団体</b>	190団体	★★★ ★

(備考)

- ・※ 年度により参加者の集計方法が異なるため、参加者数に開きがあります。

### 施策の方向5-3 協働の促進

項目	めざす方向	計画策定時	H29報告	H30報告	H31目標	達成状況
てだこ市民大学卒業生	増加	38名 (H23実績)	12名	<b>20名</b>	毎年60名	★
CGG 運動参加者数	増加	27,877人 (H23実績)	78,912人	<b>13,625人</b>	—	★★★
市民憲章環境美化活動参加者数	増加	19,948人 (H23実績)	13,815人	<b>16,541人</b>	—	★
まちづくりプラン賞受賞団体数（のべ数）	増加	117団体 (H24実績)	186団体	<b>201団体</b>	190団体	★★★ ★

## 【資料編】社会情勢及び市域環境の現況

### ○環境をとりまく社会情勢と政策の動向（2000年以降）

年	国際的な動向	日本の動向
2000		<ul style="list-style-type: none"> <li>●建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 建設工事から発生する廃棄物の分別・リサイクルなどを定めた法律。</li> <li>●食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律 生産者・販売者に食品廃棄物の減量・リサイクルを義務付けた法律。</li> <li>●環境基本計画見直し 地球温暖化対策、循環型社会の形成など11の戦略プログラムが新たに盛り込まれた。</li> </ul>
2001		<ul style="list-style-type: none"> <li>●資源の有効な利用の促進に関する法律 1991年に制定された「再生資源の利用の促進に関する法律」を抜本的に改正した。</li> </ul>
2002	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヨハネスブルグ・サミット 「アジェンダ21」の実施促進や1992年の地球サミット後に生じた課題等について議論することを目的とした首脳会議。</li> <li>●京都議定書締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地球温暖化対策推進大綱 日本における「京都議定書」を履行するための具体的裏付けのある対策を明らかにしている基本方針。</li> <li>●新・生物多様性国家戦略 「自然と共生する社会」実現のための総合的な計画と位置づけが策定されている。</li> <li>●地球温暖化対策推進法改正 「京都議定書」を受けて、国、地方公共団体、事業者、国民が一体となって地球温暖化対策に取り組むための枠組みを定めた。</li> </ul>
2003		<ul style="list-style-type: none"> <li>●循環型社会形成推進基本計画 「循環型社会形成推進基本法」に基づき策定された。</li> <li>●環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律 1人ひとりが環境についての理解を深め、取組を進めることができるよう環境教育を推進する法律。</li> </ul>
2004		<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進に関する基本的な方針 「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」に定められた事項を進めるための政府の基本方針。</li> </ul>
2005	<ul style="list-style-type: none"> <li>●京都議定書発効</li> </ul>	
2006		<ul style="list-style-type: none"> <li>●大気汚染防止法改正 ホルムアルデヒドのような揮発性有機化合物を規制するための改正が行われた。</li> </ul>
2007		<ul style="list-style-type: none"> <li>●第三次生物多様性国家戦略閣議決定 「生物多様性」の認知度を30%から50%以上とするなど初めて数値目標を設定した。</li> </ul>
2008		<ul style="list-style-type: none"> <li>●地球温暖化対策法改正 都道府県、政令市、中核市、特例市における施策についての計画策定を定めている。</li> <li>●省エネ法改正 事業者単位のエネルギー管理が導入された。</li> <li>●生物多様性基本法 野生生物や生息環境、生態系全体のつながりを含めた生物多様性の保存を目的とした基本法。</li> </ul>
2010	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物多様性 COP10（愛知県名古屋市）</li> <li>●COP16（メキシコ）カンクン合意採択</li> </ul>	
2011		<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境影響評価法改正 戦略的環境アセスメントの考え方が導入され、またアセス対象事業に一定規模以上の風力発電所の設置が加わった。</li> </ul>

年	国際的な動向	日本の動向
2012		<ul style="list-style-type: none"> <li>●第四次環境基本計画</li> <li>●環境基本法一部改正（放射能関連）</li> </ul>
2013	<ul style="list-style-type: none"> <li>●COP19（ポーランド）日本の温室効果ガス削減目標を2020年までに2005年比で3.8%削減するとした。</li> <li>●IPCC第5次評価報告書の一部公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律</li> <li>●当面の地球温暖化対策に関する方針 東日本大震災後の地球温暖化対策に関する基本的な考え方</li> </ul>
2014	<ul style="list-style-type: none"> <li>●IPCC第5次評価報告書統合報告書の公表</li> </ul>	
2015	<ul style="list-style-type: none"> <li>●COP21（パリ）の採択（世界の気温上昇を産業革命前から2度未満に抑えることを目標）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パリ協定を踏まえた地球温暖化対策の取組方針の策定。</li> </ul>
2016		<ul style="list-style-type: none"> <li>●地球温暖化対策計画を閣議決定。</li> </ul>
2017		<ul style="list-style-type: none"> <li>●気候変動適応法案を閣議決定。</li> </ul>

沖縄県の動向	浦添市の動向	年
<ul style="list-style-type: none"> <li>●沖縄県環境基本条例 環境の保全及び創造について基本理念を定め、県、事業者及び県民の責務を明らかにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第二次浦添市一般廃棄物処理基本計画（中期計画）</li> </ul>	2000
		2001
<ul style="list-style-type: none"> <li>●ちゅら島環境美化条例 県民、事業者、行政等が一体となって、空き缶・吸い殻等の散乱を防止することを目的とする。</li> <li>●沖縄県振興計画 2002年度から2011年度までの10年間、国・アジア・太平洋地域の社会経済及び文化の発展に寄与する特色ある地域として整備を図る。</li> </ul>		2002
<ul style="list-style-type: none"> <li>●沖縄県環境基本計画 沖縄県環境基本条例の基本理念の実現に向け、県民、事業者、行政等の各主体による環境保全の促進を図る。</li> </ul>		2003
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浦添市都市計画マスタープラン 優れた自然環境や豊富な歴史・文化資源を活かした都市づくりと今後の街づくりにおいて、地域住民の参加による街づくりを基本としている。</li> </ul>	2004
		2005
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第二次浦添市一般廃棄物処理基本計画（後期計画）ごみの適性な処理、生活排水処理に係る基本的事項を定める。</li> </ul>	2006
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第三次沖縄県環境保全実施計画 沖縄振興計画における環境の保全及び創造に関する施策の短期の具体的な実施計画。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第三次浦添市総合計画後期基本計画 浦添市の21世紀を眺望するまちづくりの基本となる計画。</li> </ul>	2007
<ul style="list-style-type: none"> <li>●沖縄県生活環境保全条例 沖縄県公害防止条例の全部を改正した条例。事業活動及び日常生活に伴う環境への負荷を低減する行動を実施するための指針を定めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浦添市景観まちづくり計画 行政と市民、企業、NPOが一緒になり、浦添の自然、歴史、文化等美しい風景を守り、誇りと愛着の持てる「てだこの都市・浦添」の実現に寄与することを目的に策定された。</li> </ul>	2008

沖縄県の動向	浦添市の動向	年
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浦添市地球温暖化対策実行計画 浦添市の事務・事業に伴う温室効果ガスの排出抑制並びに吸収作用の保全及びその強化のための取り組みを实践し、地球温暖化対策の推進を図る。</li> <li>●浦添市グリーン購入調達方針 浦添市の需要面から配慮した物品等の購入を総合的・計画的な推進を図る。</li> </ul>	2010
<ul style="list-style-type: none"> <li>●おきなわ 21 世紀ビジョン 21 世紀ビジョンは、県民の参画と協働のもとに、将来（概ね 2030 年）のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取組の方向性と、県民や行政の役割などを明らかにする基本構想。</li> <li>●沖縄県地球温暖化対策実行計画（区域施策編） 2003 年策定の「沖縄県地球温暖化対策地域推進計画」の改訂版。2020 年度までに、県域内の温室効果ガス総排出量を 2000 年度と同レベルから 8%削減することを目標に掲げた。</li> <li>●おきなわアジェンダ 21（改訂版） 2001 年策定の「おきなわアジェンダ 21」の改訂版。1992 年「地球サミット」で提唱された「ローカルアジェンダ」の沖縄県版で、行政、事業者、市民団体、県民の協働のもと、各主体が自覚を持って行動するための啓発・行動計画と位置づけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浦添市環境基本条例 環境の保全と創造についての理念や基本方針を明らかにした。</li> <li>●第三次浦添市一般廃棄物処理基本計画 1996 年（平成 8 年）策定の第二次計画の改訂版。一般廃棄物の適正な処理と再資源化、生活排水処理に係る基本的事項を定める。</li> <li>●第四次浦添市総合計画 浦添市の 21 世紀を眺望するまちづくりの基本となる計画。第三次計画の計画年度終了に伴い新たに策定。</li> <li>●浦添市エネルギー管理規則 市長事務部局等におけるエネルギーの使用の合理化の適正かつ有効な実施について必要な事項を定めた。</li> </ul>	2011
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浦添市環境基本計画 浦添市の環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的な推進を図る。</li> <li>●浦添市墓地基本計画</li> <li>●浦添市交通基本計画</li> </ul>	2012
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第 2 次沖縄県環境基本計画</li> <li>●生物多様性おきなわ戦略 沖縄の豊かな自然環境の基礎的要素である生物多様性を保全し、持続可能な方法で利用していく道筋を示す基本的な計画。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浦添市都市マスタープラン</li> </ul>	2013
<ul style="list-style-type: none"> <li>●沖縄県環境教育等推進行動計画 沖縄県の特성에 応じた環境教育等を推進するための計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第 2 期浦添市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定</li> </ul>	2014
<ul style="list-style-type: none"> <li>●沖縄県地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定 2020 年度までに、県域内の温室効果ガス総排出量を 2000 年度と同レベルに削減することを目標に掲げた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第三次浦添市一般廃棄物処理基本計画（後期計画）の策定 2011 年（平成 23 年）策定の第三次計画の改訂版。一般廃棄物の適正な処理と再資源化、生活排水処理に係る基本的事項を定める。</li> </ul>	2015
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浦添市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定 浦添市域より排出される温室効果ガスの排出抑制に向け、市民、事業者、市等の各主体による地球温暖化対策の推進を図る。</li> <li>●新一般廃棄物処理施設整備に関する基本合意書の締結 中城村・北中城村・浦添市によるごみ処理の広域化に向けた基本合意。</li> </ul>	2016
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浦添市里浜の保全及び活用の促進に関する条例 浦添市のカーミーサー周辺の海岸を里浜と定め、里浜の保全や活用、協働のまちづくりに寄与することを目的とする</li> </ul>	2017
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●うらそえ里浜の保全・活用ガイドライン 里浜を保全し、憩いの場として活用するために、利用にあたっての心得等を示している。</li> </ul>	2018

○市域の概況

【浦添市の面積】

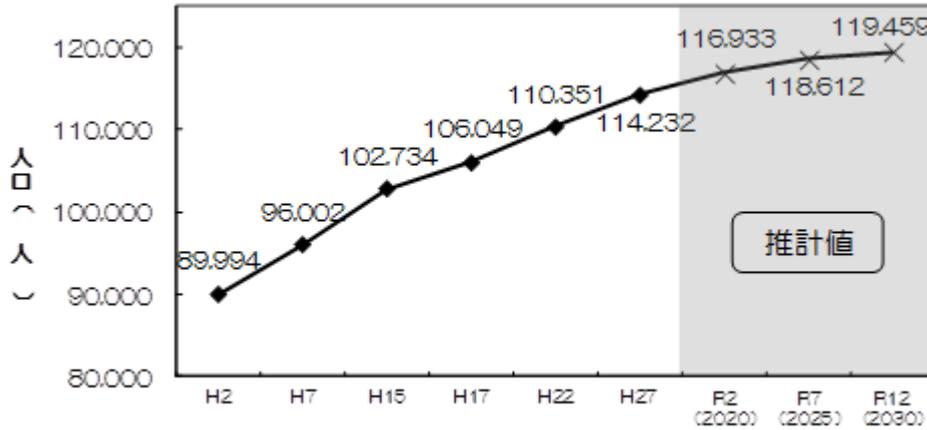
・浦添市の面積

19.48km<sup>2</sup>（平成 30 年 10 月現在）

出典：浦添市「統計うらそえ」（平成 30 年版）

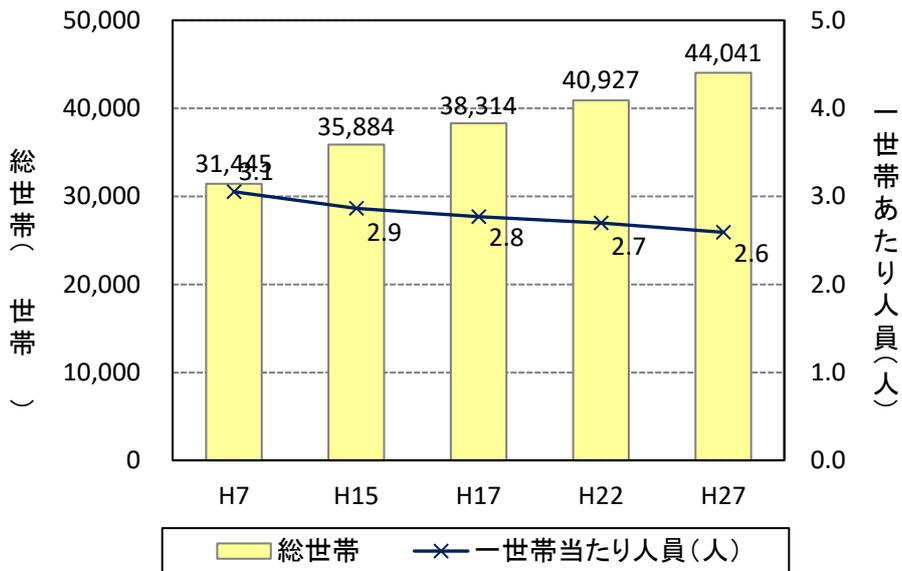
【人口・世帯】

・人口動態



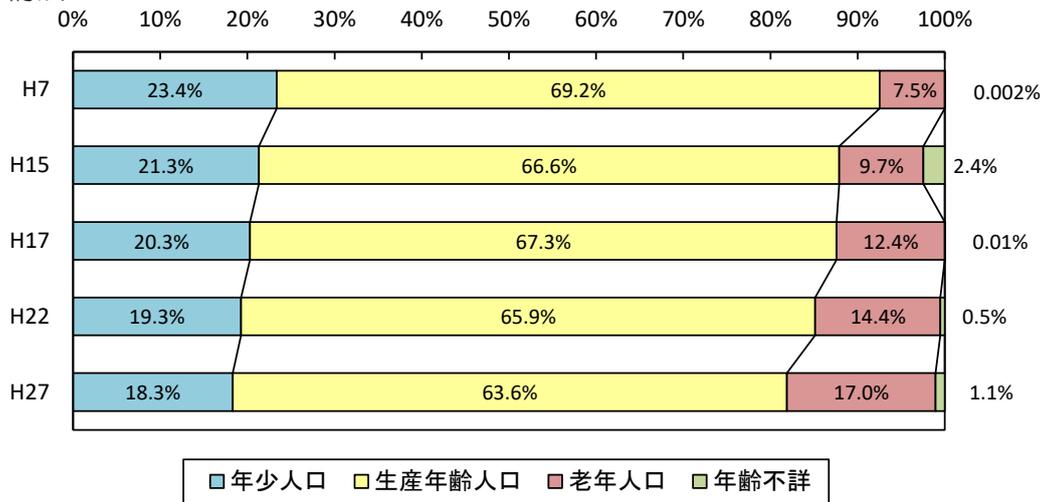
出典：1. 総務省「国勢調査」（平成 2 年～平成 27 年）  
 2. 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成 30 年推計）

・世帯動態



出典：総務省「国勢調査」（平成 7 年～平成 27 年）

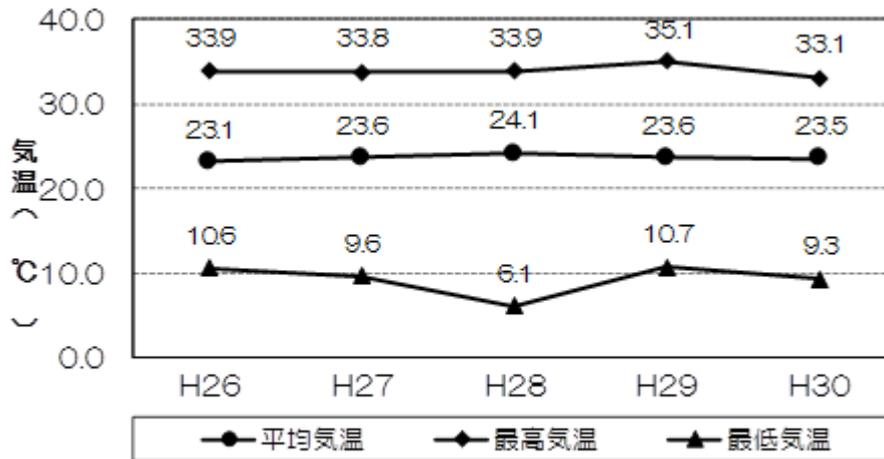
• 人口構成



出典：1. 浦添市「統計うらそえ」（平成 30 年版）

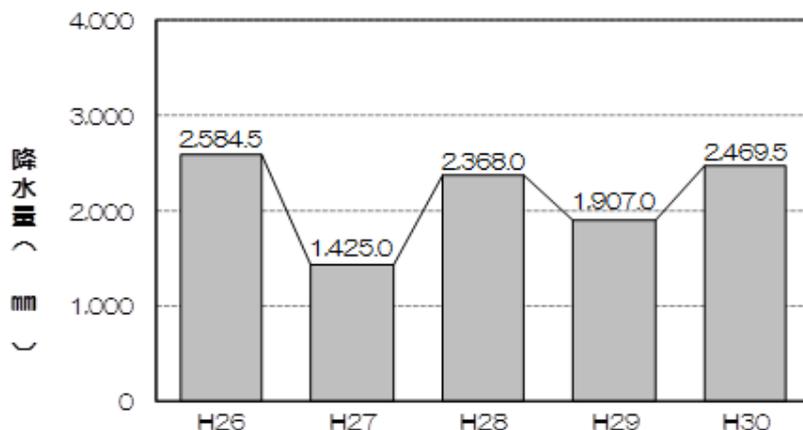
【気象・気候】

• 気象



出典：浦添市「統計うらそえ」（平成 30 年版）

• 降雨量



出典：浦添市「統計うらそえ」（平成 30 年版）

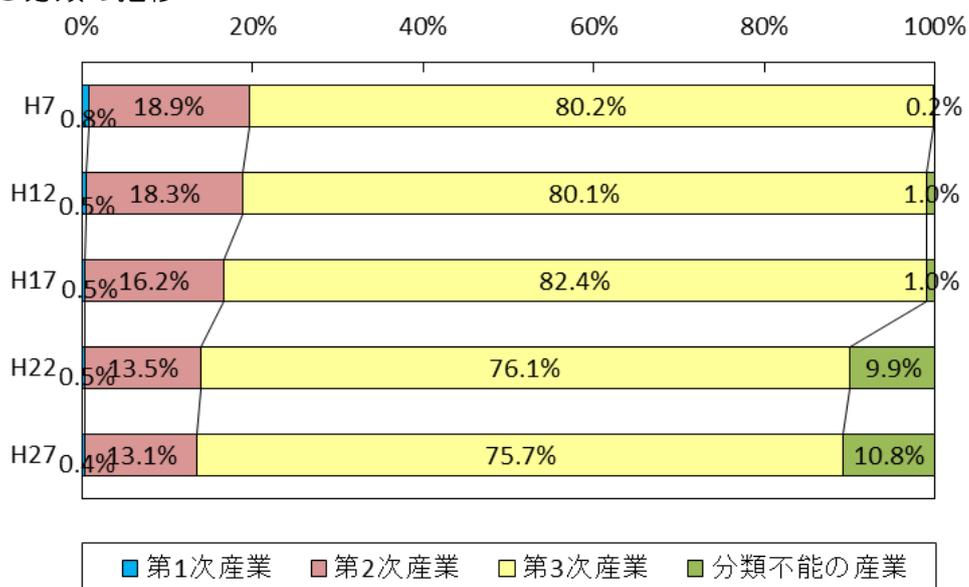
【産業】

・産業就業人口

分類		H27	
		人数	割合
第1次産業	農業	136	0.3%
	林業	3	0.0%
	漁業	51	0.1%
	<b>小計</b>	<b>190</b>	<b>0.4%</b>
第2次産業	鉱業	9	0.0%
	建設業	3,820	8.3%
	製造業	2,230	4.8%
	<b>小計</b>	<b>6,059</b>	<b>13.1%</b>
第3次産業	電気・ガス・水道業	328	0.7%
	情報通信・運輸業	3,714	8.1%
	卸売・小売業	7,334	15.9%
	宿泊・飲食業	2,816	6.1%
	金融・保険業	1,186	2.6%
	不動産業	1,101	2.4%
	教育・学習支援	2,446	5.3%
	医療・福祉	6,220	13.5%
	サービス業	7,698	16.7%
	公務	2,053	4.5%
	<b>小計</b>	<b>34,896</b>	<b>75.7%</b>
分類不能の産業		4,959	10.8%
<b>合計</b>		<b>46,104</b>	<b>100.0%</b>

出典：浦添市「統計うらそえ」（平成30年版）

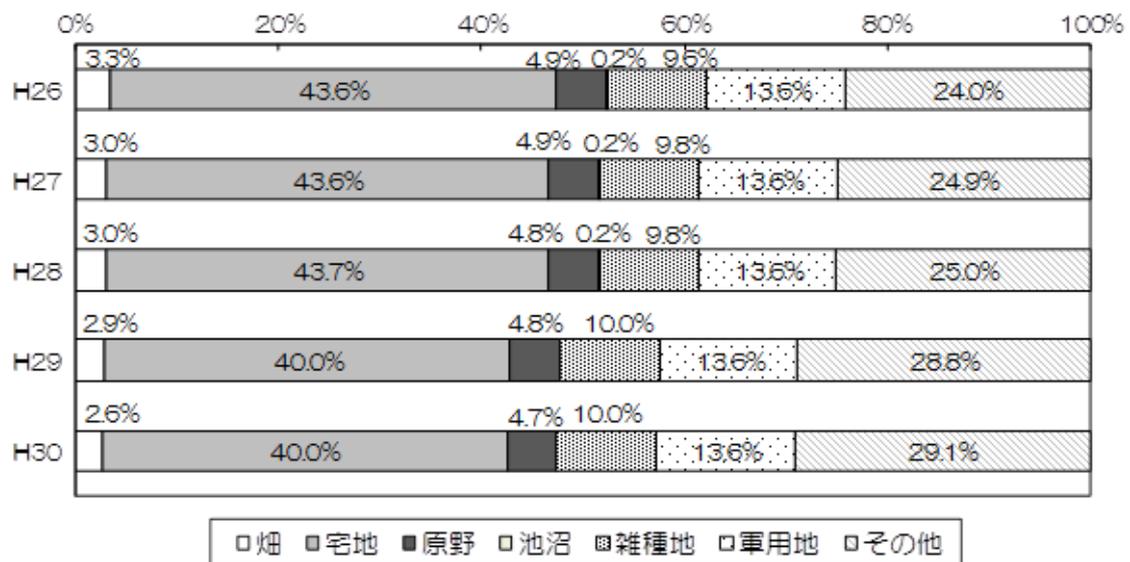
・産業3分類の推移



出典：浦添市「統計うらそえ」（平成30年版）

【土地利用】

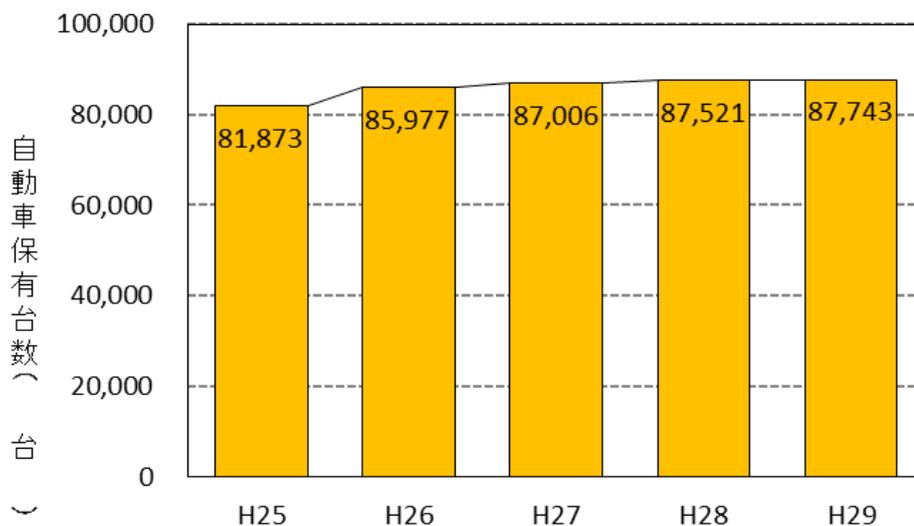
・土地利用の推移（地目別）



出典：浦添市「統計うらそえ」（平成 30 年版）

【交通】

・自動車保有台数の推移

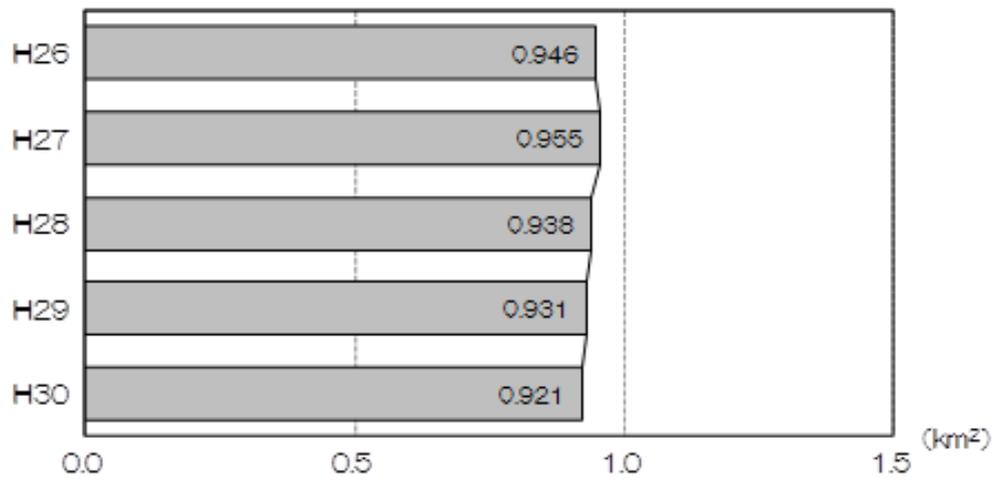


出典：沖縄総合事務局運輸事務所「業務概況」（平成 26 年度～平成 30 年度版）

○自然環境の現況

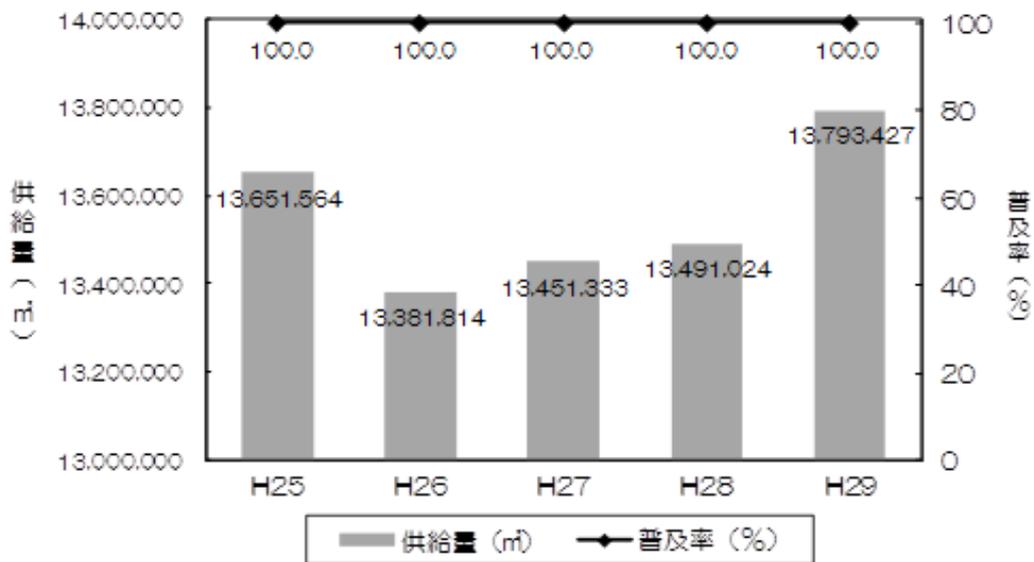
【自然・水環境】

- 山林原野（地目）の面積の推移



出典：浦添市「統計うらそえ」（平成 30 年版）

- 上水道の給水量、普及率の推移

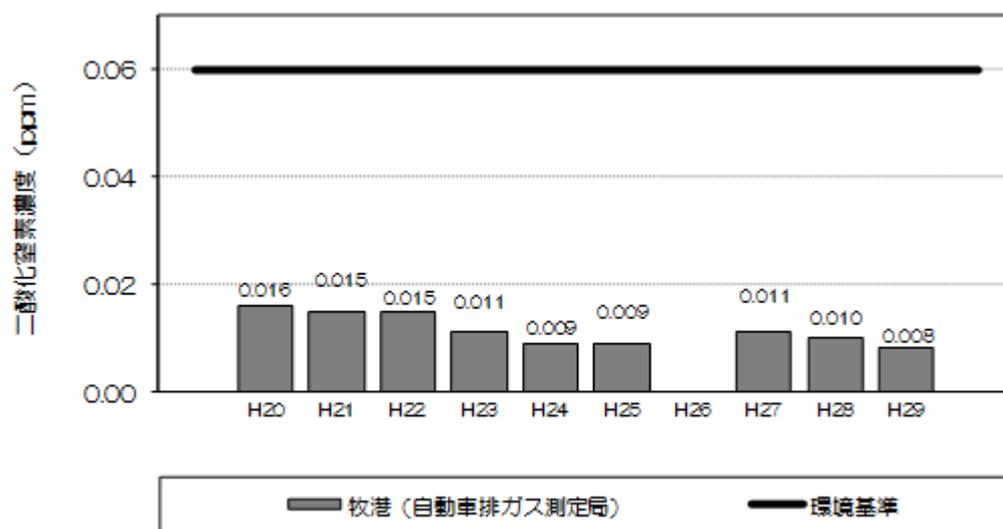


出典：浦添市「統計うらそえ」（平成 30 年版）

## ○生活環境の現況

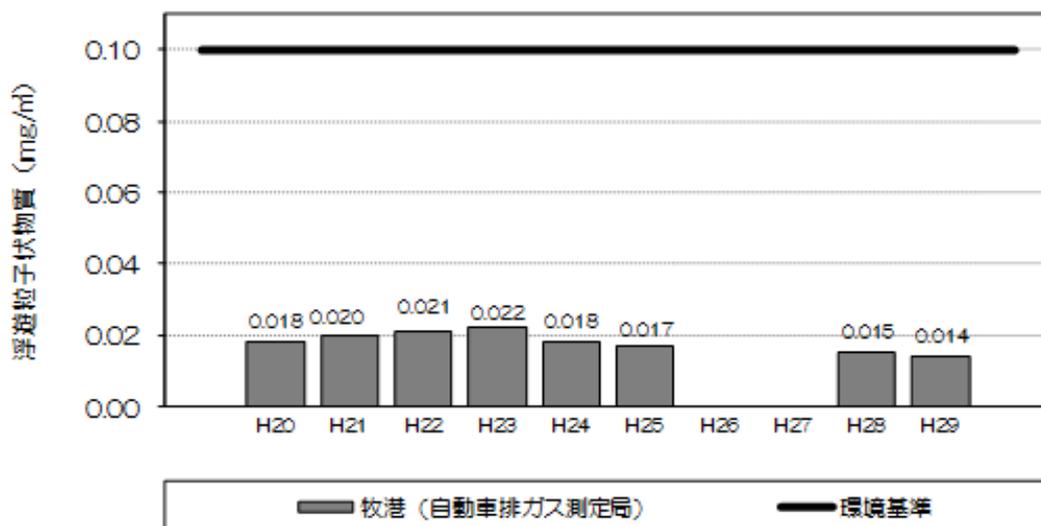
### 【大気汚染】

- 二酸化窒素濃度の年平均値の推移と環境基準達成状況



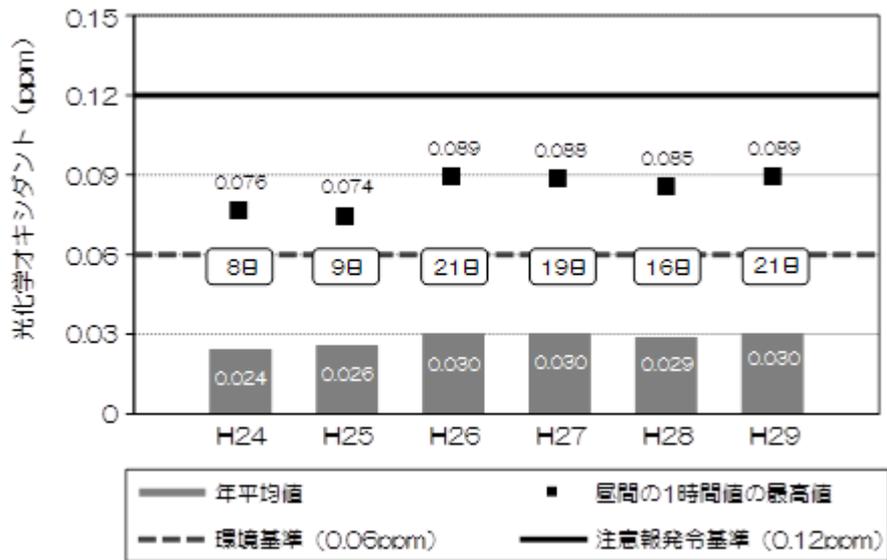
注) 浦添測定局は平成 19 年 3 月に廃止  
牧港測定局は平成 26 年度の測定を停止  
出典：沖縄県「環境白書」(平成 30 年度)

- 浮遊粒子状物質の年平均値の推移と環境基準達成状況



注) 浦添測定局は平成 19 年 3 月に廃止  
牧港測定局は平成 26・27 年度の測定を停止  
出典：沖縄県「環境白書」(平成 30 年度)

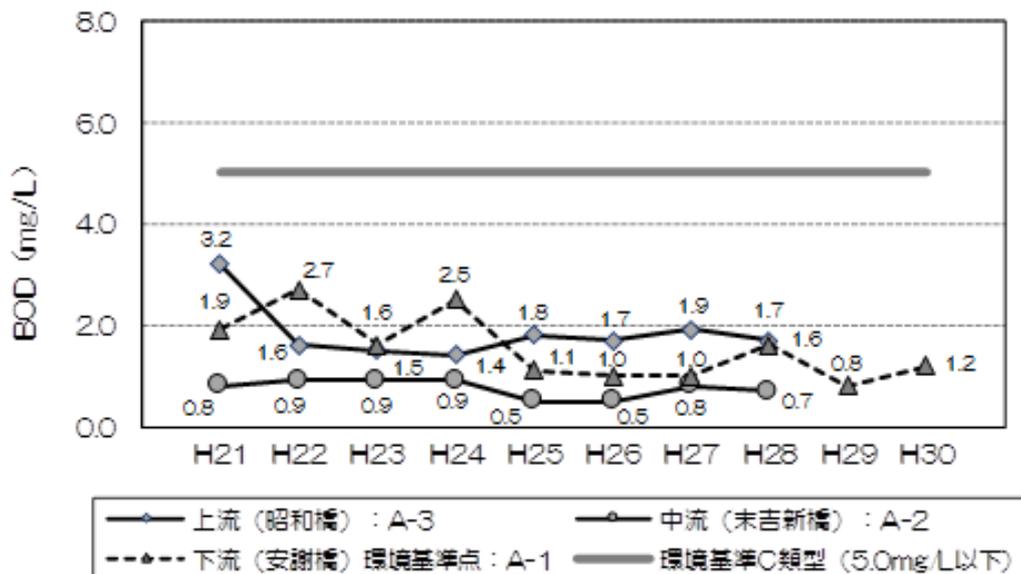
・光化学オキシダントの年平均値の推移と環境基準達成状況（那覇測定局）



注) 表中の日数は昼間の1時間値が環境基準を超えた日数  
 出典：沖縄県「環境白書」（平成30年度）

【水質汚濁】

・安謝川の水質と環境基準達成状況

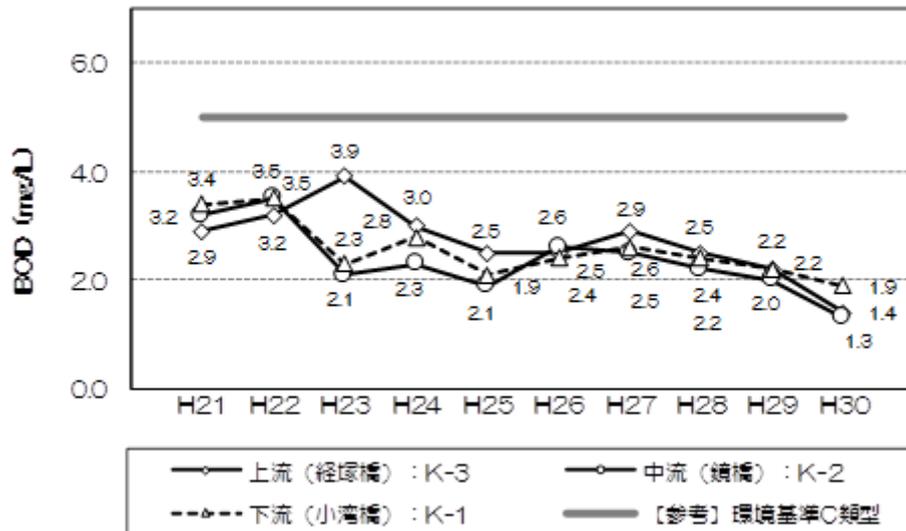


注) BOD=生物化学的酸素要求量 ※75%値を記載

出典：1. 沖縄県環境生活部「水質測定結果（公共用水域及び地下水）」（平成21～28年度）

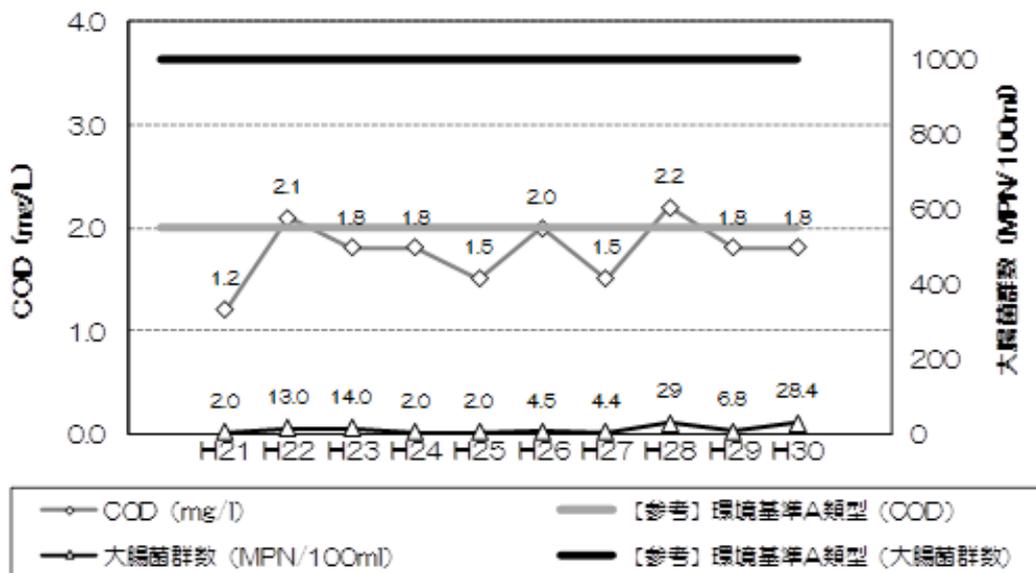
2. 沖縄県環境生活部「水質測定結果速報値（公共用水域及び地下水）」（平成29～30年度）

• 小湾川の水質と環境基準達成状況



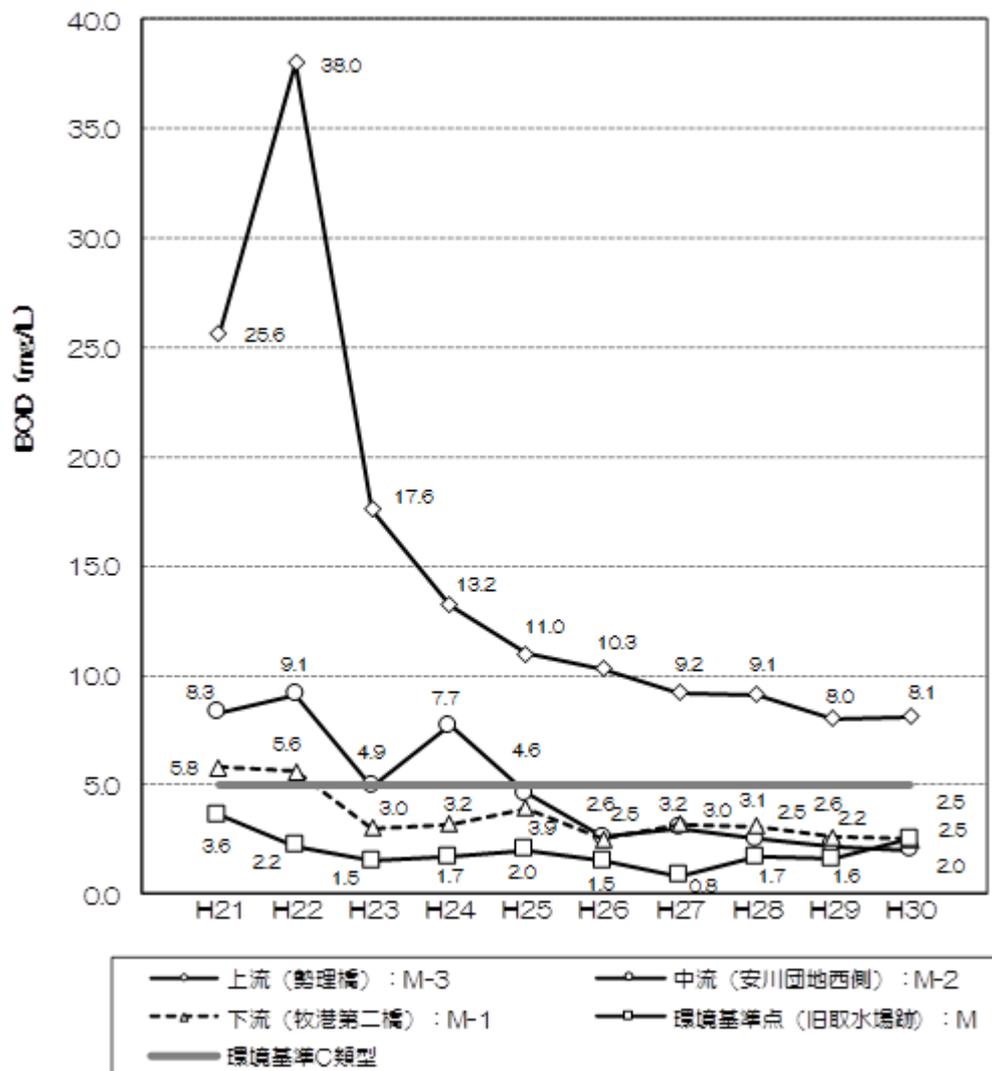
注) BOD=生物化学的酸素要求量 ※75%値を記載  
出典: 浦添市環境保全課資料

• 港川海岸の水質と環境基準の達成状況



注) COD=化学的酸素要求量  
出典: 浦添市環境保全課資料

・牧港川の水質と環境基準達成状況



注) BOD=生物化学的酸素要求量 ※75%値を記載

出典：1. 沖縄県環境生活部「水質測定結果（公共用水域及び地下水）」（平成 21～28 年度）

2. 沖縄県環境生活部「水質測定結果速報値（公共用水域及び地下水）」（平成 29～30 年度）

3. 浦添市環境保全課資料

【騒音・振動】

・ 1日当たりの交通量

（国道 58 号・浦添市仲西）7 万 6 千台

（国道 330 号・浦添市沢岬）7 万 8 千台

出典：内閣府 沖縄総合事務局

「道路交通センサス一般交通量調査集計表箇所別基本表（H27）」

• 航空機騒音

測定地点	環境基準		測定期間内 平均 Lden(dB)	1日あたりの 騒音発生回数	1日あたりの騒音 継続累積時間
	Lden(dB)	類型			
1 牧港	57	I	49	11.9	4分21秒
2 当山	57	I	50	8.2	2分58秒
3 内間	-	-	48	4.7	1分59秒

出典：沖縄県環境保全課「航空機騒音測定結果報告書（H30）」

【地下水汚染、悪臭】

• 地下水の水質

単位：mg/L

調査種類	調査地区	項目（環境基準値）								
		ヒ素 （0.010以下）			硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 （10.00以下）			ホウ素 （1.00以下）		
		H27	H28	H29	H27	H28	H29	H27	H28	H29
概況調査	牧港	不検出	不検出	-	3.01	-	-	0.02	-	-
継続監視 調査	屋富祖	0.120	0.100	0.096	-	-	-	-	-	-
	当山	0.007	0.037	0.035	-	-	-	-	-	-

出典：沖縄県環境生活部「水質測定結果（公共用水域及び地下水）」  
 （平成 27～28 年度）  
 沖縄県環境生活部「水質測定結果（公共用水域及び地下水）」  
 （平成 29 年度 概要版）

【化学物質】

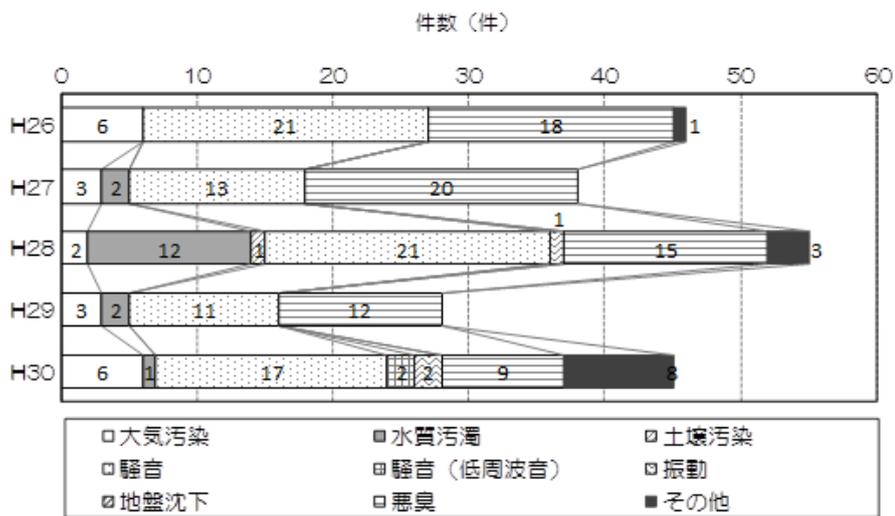
• PRTR 法対象化学物質の排出先別 排出量・移動量一覧

		届出数	大気	水域	土壌	埋立	排出量 合計	下水道	廃棄物	移動量 合計	排出・移動量 合計
2013 (H25)	(k)	19	9,364	1	0	0	9,365	0	650	650	10,015
	(%)	-	93.5	0.0	0.0	0.0	93.5	0.0	6.5	6.5	100.0
2014 (H26)	(k)	18	10,208	0	0	0	10,208	0	0	0	10,208
	(%)	-	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
2015 (H27)	(k)	18	10,929	0	0	0	10,929	0	2,300	2,300	13,229
	(%)	-	82.6	0.0	0.0	0.0	82.6	0.0	17.4	17.4	100.0
2016 (H28)	(k)	18	11,885	0	0	0	11,885	0	19,038	19,038	30,923
	(%)	-	38.4	0.0	0.0	0.0	38.4	0.0	61.6	61.6	100.0
2017 (H29)	(k)	16	10,566	0	0	0	10,566	0	750,035	750,035	760,601
	(%)	-	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	98.6	98.6	100.0

出典：経済産業省「PRTR けんさく（PRTR データ分析システム）」  
 （平成 29 年度）

【公害苦情】

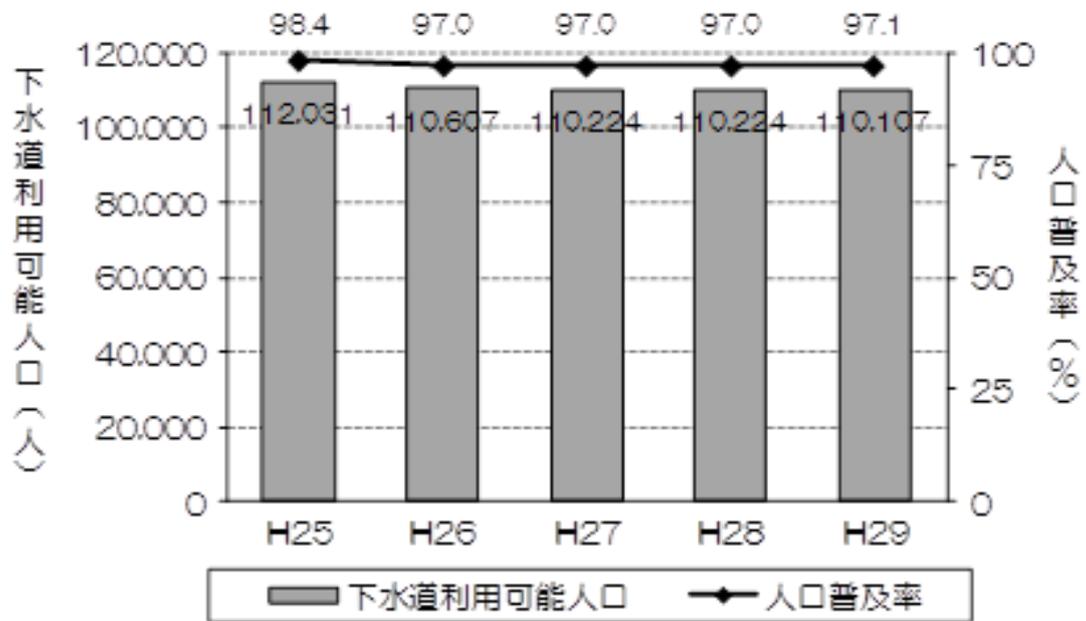
- 公害苦情（典型7公害別）の推移



出典：浦添市環境保全課資料

【生活排水対策】

- 公共下水道整備状況（普及率）及び公共下水道普及人口



出典：浦添市「統計うらそえ」（平成30年版）

- ・し尿、合併処理浄化槽、単独処理浄化槽の収集人口及び収集量の推移

年 度		H26	H27	H28	H29	H30
収 集 人 口 (人)	し尿	658	760	678	668	677
	合併処理浄化槽	1,129	1,166	1,134	1,129	1,136
	単独処理浄化槽	5,373	6,915	6,998	6,379	7,145
	合 計	7,160	8,841	8,810	8,176	8,958
収 集 量 (kL/年)	し尿	644	580	541	561	625
	浄化槽汚泥	1,101	1,102	1,180	1,239	1,159
	合 計	1,745	1,682	1,721	1,800	1,783

出典：浦添市環境保全課資料（平成 30 年度）

### ○快適環境の現況

#### 【歴史文化】

- ・指定文化財集計

区分	有形文化財				無形 文化財	無形民俗 文化財	史跡	名勝	天然記念物		合計
	建造物	彫刻	工芸品	絵画					動物	植物	
国	指定				1		2	1	1		5
	選択					1					1
県	指定	1	1	5	1		2		2		12
市	指定			39	5	5	9			3	61
合計		1	1	44	5	2	6	13	1	3	79

※ 2 件の重複指定があるため、文化財の実数は 77 件となります。

出典：浦添市文化課資料

#### 【公園・緑地】

- ・公園敷地面積

(平成31年3月現在)

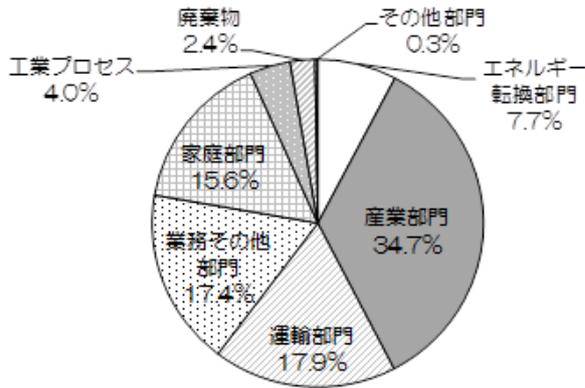
公園種別	確保面積		供用開始面積	
	箇所数	面積 (m <sup>2</sup> )	箇所数	面積 (m <sup>2</sup> )
街区公園	87	131,700	75	105,500
近隣公園	4	92,700	3	71,700
地区公園	2	59,400	-	-
総合公園	2	507,000	2	190,500
運動公園	1	146,000	1	146,000
墓地公園(特殊公園)	1	72,000	1	66,000
都市緑地	41	169,900	6	55,200
合計	138	1,178,700	88	634,900
1人当たり公園面積	10.3m <sup>2</sup> /人		5.6m <sup>2</sup> /人	

出典：1. 浦添市美らまち推進課資料

○地球環境の現況

【地球温暖化】

・全国の部門別二酸化炭素排出量

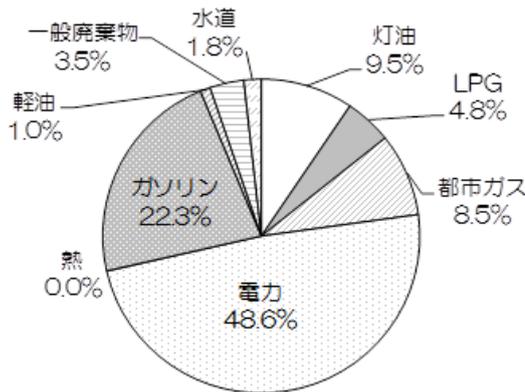


(単位：百万トン-CO<sub>2</sub>)

排出源	H29
エネルギー転換部門	91.8
産業部門	412.9
運輸部門	213.2
業務その他部門	207.5
家庭部門	185.6
工業プロセス	47.3
廃棄物	28.8
その他部門	3.2
合計	1,190

出典：GIO 温室効果ガスインベントリホームページ 温室効果ガス排出量・吸収量データベースの日本の温室効果ガス排出量データ（1990～2017年度速報値）

・家庭の二酸化炭素排出量の割合（全国平均）

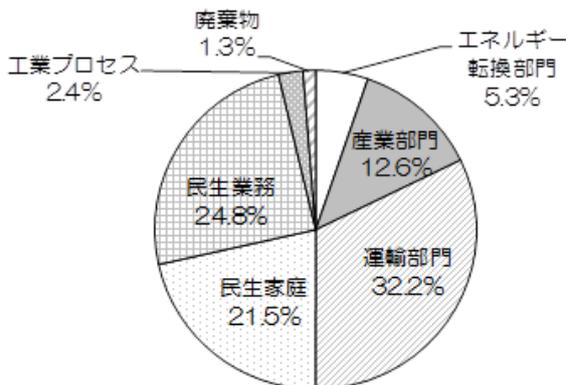


(単位：kg-CO<sub>2</sub>/世帯)

排出源	H29
灯油	423
LPG	216
都市ガス	382
電力	2,177
熱	1
ガソリン	999
軽油	46
一般廃棄物	156
水道	79
合計	4,480

出典：GIO 温室効果ガスインベントリホームページ 温室効果ガス排出量・吸収量データベースの日本の温室効果ガス排出量データ（1990～2017年度確定値）

・沖縄県の二酸化炭素排出量の割合

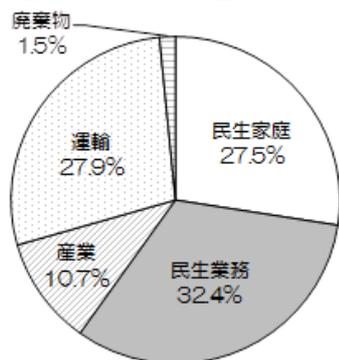


(単位：万t-CO<sub>2</sub>)

排出源	H28
エネルギー転換部門	62
産業部門	147
運輸部門	377
民生家庭	252
民生業務	291
工業プロセス	29
廃棄物	15
合計	1,172

出典：沖縄県地球温暖化対策実行計画 進捗状況管理報告書（平成31年3月）

・浦添市内の二酸化炭素排出量とその内訳



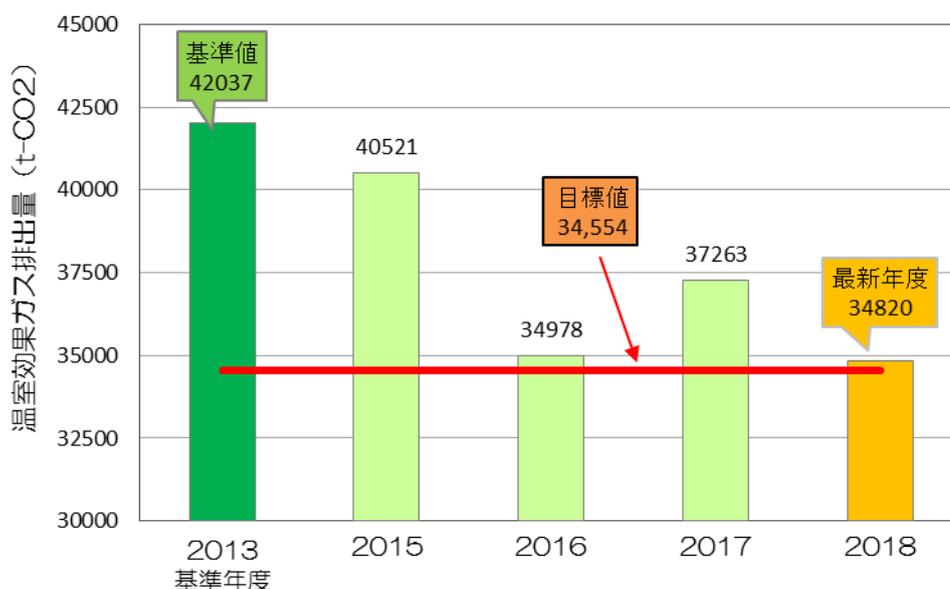
(単位：万t-CO<sub>2</sub>)

排出源	H27
民生家庭	19.5
民生業務	23.0
産業	7.6
運輸	19.8
廃棄物	1.1
合計	71.0

出典：浦添市環境保全課資料

・市役所の温室効果ガス排出量 (t-CO<sub>2</sub>) の推移 (目標値：34,554 t-CO<sub>2</sub> 以下)

年度	2013(H25)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)
排出量	42,037	40,521	34,978	37,263	34,820



出典：浦添市環境保全課資料

・市業務における温室効果ガス排出量削減率の推移

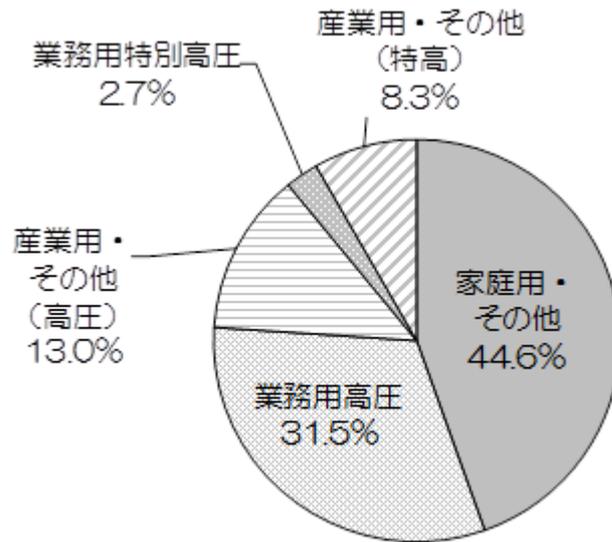
(目標値：2013年度比で17.8%削減)

年度	2013(H25)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)
削減率	基準	3.6%	16.8%	11.4%	17.2%

出典：浦添市環境保全課資料

【省エネルギー】

- 市内の電力消費量の内訳



出典：浦添市「統計うらそえ」（平成30年版）

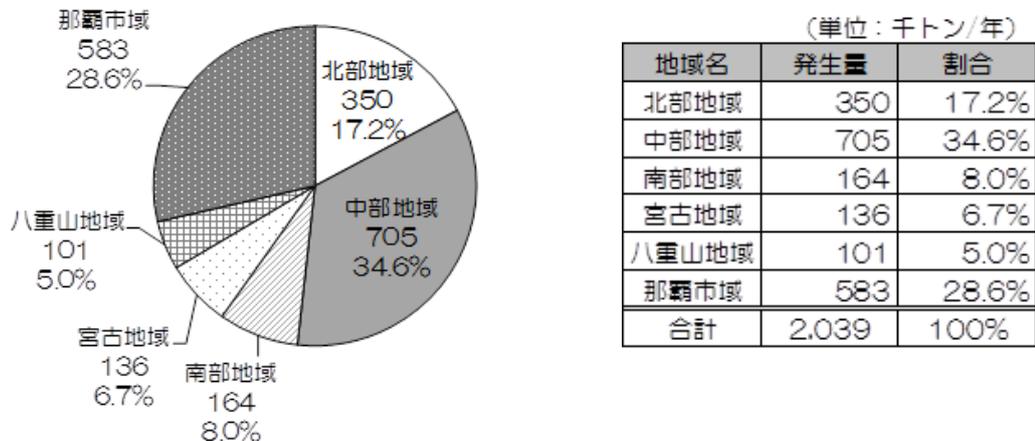
【廃棄物】

- 一般廃棄物の排出量、再生利用量の推移

区分	H26	H27	H28	H29	H30
総排出量 ごみ量 (t/年)	33,758	33,379	33,300	33,240	33,450
家庭系ごみ量 (t/年)	21,689	21,460	21,439	21,432	21,772
事業系ごみ量 (t/年)	12,068	11,919	11,861	11,808	11,678
1日1人当たりの排出量 (g/人・日)	812	801	801	799	803
再生利用量 (総資源化量) (t/年)	5,747	5,992	5,499	6,326	4,533
(リサイクル率 (%)) = 再生利用量 / 総排出量	17.0%	18.0%	16.5%	19.0%	13.6%
最終処分量 (t/年)	0	0	0	0	0
(最終処分量 (%)) = 最終処分量 / 総排出量	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

出典：浦添市環境保全課資料

- 産業廃棄物の地区別発生量（動物のふん尿を含む全産業）



出典：沖縄県文化環境部「沖縄県産業廃棄物フォローアップ調査報告書」（平成29年度実績）

○協働の現況

【環境教育及び環境学習】

・環境教育関連講座の実施状況（開催数）

	H28	H29
宿泊体験学習事業(学校教育関連)	11回	11回
リサイクルプラザ関連講座	42回	44回
環境教育講座	8回	8回
環境学習講座	5回	5回
その他		
てだこ市民大学講座	1回	0回
てだこ学園大学院講座	8回	0回
環境関連施設見学（出前講座）	17回	19回
市民環境調査	2回	2回
社会教育学級	9回	8回
放課後こども教室	39回	59回
合    計	142回	156回

浦添市環境基本計画 年次報告書（平成 30 年度版）  
令和 2（2020）年 3 月

浦添市 市民部 環境保全課  
〒901-2501 沖縄県浦添市安波茶 1-1-1  
TEL 098-876-1234